

<演題募集要項>

I. 演題発表概要

1. 口述発表のみとなります。
2. 発表形式はPCプレゼンテーションのみで、一般スライドは使用できません。
3. 発表内容は、理学療法の発展に寄与する内容に限ります。

II. 応募資格

1. 筆頭演者は東京都民もしくは東京都に勤務する理学療法士。

III. 応募方法

※下記フォームからの受け付けのみとなります。

1. 応募は下記フォームから登録してください。

<https://goo.gl/forms/1f0ciU150UqInunn1>

登録後、1週間以内に返信のない場合、下記問い合わせ先にお問い合わせください。

問い合わせメールアドレス:toubutouhokubu.pt.tokyo@gmail.com

締切日：平成31年1月10日(木)迄

2. 登録内容：●会員番号、生年月日（日本理学療法士協会会員のみ）●氏名（フリガナ）●所属機関（自宅会員の場合は自宅）●所属機関の住所（自宅会員は自宅住所）●連絡先（TEL・E-mail）
3. 抄録作成については必ず「VII. 抄録作成要領」を参照してください。

IV. 応募上の注意

1. 応募された演題と学術集会当日の発表内容が大幅に変わることはないようにしてください。
2. 筆頭演者としての応募は1人1題に限ります。
3. 演題申し込みにあたっては、共同演者の了解を得た上で応募してください。なお、共同演者も筆頭演者と同等の責任を負うことをご承知ください。
4. 内容の類似している複数演題及び他学会や雑誌等で発表済みの演題応募はご遠慮ください。
5. 個人情報保護法を遵守し、本文中の研究対象にとって不利となるような属性（人名、施設名等）を記載しないよう注意してください。対象者個人の特定のリスクを少なくする関係上、発症日などの具体的な日付は「○年○月○日」などと表記してください。また、発症日などの日付以降は、「○病日」や「術後○日目」などと表記してください。
6. 本会の運営委員会では、これらの点についての確認は行いませんので、全て登録者の自己責任において応募してください。
7. 採択された演題の取り消しはできません。

V. 応募演題に関する倫理上の注意

1. ヘルシンキ宣言に沿った研究であることを確認ください。特に、プライバシーの侵害や人体に影響を与える研究に関しては、対象者に説明と同意を得たことを本文中に明記してください。また、レントゲン撮影や、侵襲を伴う研究方法がなされた場合は、抄録中にそれを実際に施行した人の職種を明記してください。なお、演者の所属する機関の倫理委員会で承認された研究である場合は、その旨抄録中に記載してください。ヘルシンキ宣言を必ずご一読ください。
2. 原則として厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」などの医学研究に関する指針に従ってください。
3. 発表者は利益相反について発表時に必ず開示して下さい。日本理学療法士学会の定める「利益相反（Conflict of Interest：COI）の開示に関する基準」に準拠します。演題登録前に必ず御一読下さい。抄録への記載は不要ですが、当日の発表スライドへの掲載をお願いします。

VI. 演題審査

1. 演題の採択については、区東部・区東北部ブロック部が依頼した演題審査委員による選考結果を参考に区東部・区東北部ブロック部による採択の可否を決定します。
2. 演題審査において、必要のある場合は演題審査委員により、文章の加筆や修正をお願いする場合があります。
3. 演題の採択結果については、平成 31 年 1 月末日までに電子メールで通知いたします。
4. 採択された演題の取り消しは原則としてできません。

VII. 抄録作成要領

1. キーワードは標準的な用語を使用し、必ず 3 個記載してください。
2. 文には、【はじめに】、【説明と同意】、【症例紹介】、【評価】、【結果】、【考察】など小見出しを必ずつけてください。
3. 本文の文字数は 1200 字以内とし、各行の最後で改行（リターン）を入れず、各段落の最後のみ改行してください。
4. 写真や図表は抄録に含めないでください。

VIII. 口述発表について

1. 演者は学術集会開始時刻の 30 分前までに、演者受付にて登録を済ませ、プレゼンテーションデータの動作確認を行ってください。また、10 分前には会場の演者席に着席願います。
2. 発表時間は 10 分以内、質疑応答は 5 分以内とします。
3. プレゼンテーションデータは Windows 版 Microsoft Power Point にて作成して下さい。スライド枚数の制限はありませんが、発表時間内に収まるよう注意してください。
4. 当日使用するプレゼンテーションソフトは Windows 版 Microsoft Power Point 2007 です。プレゼンテーションデータは当日持込としますが、事前に必ず Windows 版 Microsoft Power Point 2007 で動作可能なことを確認してください。MAC を使用する場合は、持込パソコンに限らせて頂きます。
5. 事前に必ずプレゼンテーションデータを作成しているパソコン以外のパソコンでも動作可能であることを確認してください。
6. プレゼンテーションデータは USB メモリーと、それ以外の記憶媒体（フロッピーディスクを除く）の 2 種類以上に保存の上、当日持参してください。事前に記憶媒体のウイルスチェックを徹底願います。
7. 動画の使用も可と致します。但し、持込 PC（* 変換ケーブルも持参して下さい）もしくは記憶媒体（フロッピーディスクを除く）を持参ください。尚、記憶媒体で持ち込む場合は、Power Point に張り付けて持参下さい。万が一動画が作動しない場合を想定し、別途発表用スライドも用意作成お願い致します（USB メモリーに保存し持参してください）。
8. 上記の内容に従って作成しなかった場合、当日正常にファイルが動かないなどのトラブルが生じても一切責任は負えません。
9. プレゼンテーションファイルの操作は演者自身で行ってください。やむを得ない場合は、操作担当者を一人準備してください。

IX. 問い合わせ先

電話及び FAX の問い合わせは受付けておりません。下記のアドレスにご連絡下さい。その際、件名に必ず「演題に関する問い合わせ」と明記してください。

区東部・区東北部ブロック学術担当 平野正仁

E-mail:toubutouhokubu.pt.tokyo@gmail.com